

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	電磁環境小委員会	主 査 名：平井淳一 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会(電磁環境運営委員会)	委員長名：加藤 信介 主 査 名：黒崎 幸夫
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の電磁環境に関する各種計測法及び評価法の確立と標準化 2006 年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境計測方法の標準化 ・ 新しい計測方法(到来波によるシールド性能評価)の調査 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 影山健二(株)竹中工務店), 片野正昭(セントラル硝子(株)), 木村健一(株)フジタ), 黒沼弘(協立電子工業(株)), 三枝健二(日本大学), 齊藤武秀(国土交通省), 志田浩義(株)トーキン E M C エンジニアリング), 多田和照(アジレント・テクノロジー(株)), 富樫元康(日本板硝子環境アメニティ(株)), 長田耕治(清水建設(株)), 平井淳一(鹿島建設(株)), 堀之内淳(光洋産業(株)), 宮川忠明(安藤建設(株)), 吉野涼二(大成建設(株))	
設置 WG (WG 名：目的)		
2006 年度予算	20000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：未公開

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「建築物の現場における電磁シールド性能測定方法」素案作成 2. 同上解説書案作成 3. 到来波によるシールド性能評価に関する基礎データ収集並びに解析 以上本年度活動計画通りの進捗状況
委員会活動の問題点 ・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2006 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>各種計測方法の確率と標準化において素案作成がほぼ完了。 2007 年度成果公開の予定。今後、評価法についても検討開始の予定。 アカデミックスタンダードにも今後対応の予定。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。